

徳島県森林組合連合会のSDGs宣言！

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます（外務省サイトより）。

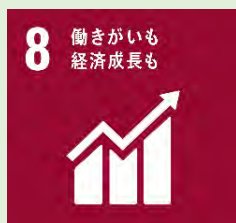
徳島県森林組合連合会では、以下のような取り組みを通じて、SDGsの達成を目指しています。

森林整備を通じた自然資源の保全



- ◆森林組合と連携した森林の整備を通じて、国土保全、水源涵養、土砂災害防止、二酸化炭素吸収など、森林が持つ公益的機能の持続的な発揮に努めます。
- ◆豊かな森林は、私たちに安全で潤いのある生活環境を提供するとともに、多様な生物の生態系の保全につながります。
- ◆森林は、きれいな水を生み出し、河川を通じて豊かな海もはぐくみます。

持続可能な林業の発展とまちづくり



- ◆伐採した山には再造林を行い、森林資源の循環利用を維持し、持続可能な林業を実現します。
- ◆高い知識と技術を兼ね備えた林業の担い手の育成・確保やスマート技術の導入促進により、安全で生産効率の良い林業経営を目指します。
- ◆「合法性証明」や「産地認証」の推進により、消費者の安心と信頼に応える木材供給に努めるとともに、木材の利用拡大により、木の香る豊かなまちづくりに貢献します。